

令和6年3月5日

上島町教育委員会  
教育長 清水 伸 様

上島町立弓削中学校  
校長 今宮 浩

令和5年度 学校関係者評価報告書

- 1 開催日時 令和6年2月5日（月） 19:00～20:00
- 2 参加者 学校運営協議会委員及び小中学校教務主任 16名
- 3 協議内容 評価結果・改善方策等、学校側の説明を聞いてからの意見交換・感想

1 学校評価アンケートから特に評価の低かった項目の分析と考察についての学校からの説明

(1) 質問項目3番について

教職員、生徒の評価に対して保護者の評価が特に低くなっている。テストの点数等の結果から判断したと考えられる。放課後の学習タイム等を利用して、個々の基礎・基本の定着を図っていきたい。

(2) 質問事項4番について

教職員、生徒の評価に対して保護者の評価が低くなっている。今年度は授業参観において、教科の授業を行う機会が少なかったため、3番の項目と同じように、分かりやすい授業かどうかを成績から判断していると考えられる。来年度はできるだけ多くの保護者が教科の授業を参観できる機会を設置していきたい。

(3) 質問事項5番について

教職員、生徒、保護者全てにおいて評価が低い。昨年度から引き続き自主学習を毎日の課題として与えている。ほとんどの生徒が毎日提出することができているが、内容面においてマンネリ化してきていることや、家庭学習の時間も減ってきているのではないだろうか。自主勉強ノートの取り組み方の見直しを行ったり、生徒一人一人に合った課題の与え方を工夫したりして、家庭学習の習慣を身に付けさせたい。

(4) 質問事項12について

教職員、保護者の評価に対して、生徒の評価が低い。毎日の「あゆみ」や生活アンケートを通して、生徒の悩みの早期発見や早期対策に努めているが、普段から相談しやすい雰囲気づくりに努め、より一層教育相談の機会を充実させる必要がある。

## 2 意見交換

(A委員から)

- 中学校の評価の中で学校に行きにくい生徒がいることにもつながってくると思うが、アンケートの12番の項目で生徒の評価がBになっている部分が少しでも改善できるようになればいいと思う。先生だけでなく保護者も、心の発達状況と受験勉強などとの兼ね合いも考えながらどう持っていけばよいかのところが難しいところである。

(B委員から)

- ICT支援員としてお願いしたいことがある。タブレットの使用方法について、家庭での使用方法を学校においても決まりを定めて、保護者にその内容を通達してほしい。
- 質問内容について、保護者の回答が学校の意図しているような内容になっているのかどうか。保護者と教員間で判断基準のギャップがあるのではないか。発問内容をもう一度見直したほうがよいのではないか。
- 5番の内容で自主学習ノートが作業感が出てきているのではないか。生徒一人一人に合った課題を具体的に与えてみるのもよいのではないか。プリントなどで具体的な課題を与えたほうが生徒もやる気になるのではないか。

(C委員から)

- タブレットについてきまりを決めるのが親としても難しいと思うので、学校である程度規制してもらえるとありがたい。

(D委員から)

- タブレットの使用方法について、ルールを決める必要があるのだろうか。生徒がユーチューブなどで検索をするのも一つの活用方法としていいのではないか。
- 基礎力が足りていないというのは、どういうことが原因なのだろうか。

(E委員から)

- 今と昔では、学校の様子も随分変わってきている。一人一人に合わせた学習をするというのは、先生も大変だろうと思う。一人一人に合わせて課題を与えるといっても、その課題の作り方が大変だと感じた。